

2023年7月5日(水)第一水曜祈祷会  
コリント人への手紙第一3章1～9節  
「大切なのは神」

**序:**

手紙の著者は、使徒パウロ。パウロは、第二回伝道旅行の際にコリントを訪れ、一年半滞在して伝道した。ここでは、アキラとプリスキラという良き協力者の夫婦がいた。そこでは会堂司クリスポとその家族をはじめ、多くのコリント人が信仰に入り、コリントの教会が形成された(使徒18:1～11)。

パウロが去ってから、アポロがコリントに来て伝道した。アポロは雄弁で、聖書に通じた人物だったので(使徒18:24～)、多くの人が彼に心酔するようになった。また、ペテロもコリントに来て伝道し、彼を支持する者も起こったようである。こうして教会内に分派が生じてしまった(Ⅰコリント1:12)。

**本論:**

**1. 「未熟なコリントの教会の現状」(1～4節) \*「兄弟たち」…パウロの親愛なる呼びかけ。**

①パウロはキリスト者の成長段階をどのように表現していますか(三種類)。

→

②「肉に属する人」「キリストの幼子」とはどのような人のことですか。

→

③パウロはどのようにしてコリントの教会の人々を肉の人と呼んだのですか。

→

**2. 「大切なのは成長させてくださる神」(5～9節) \*「ただの人」…普通の人。**

①パウロは、自分やアポロやペテロのことを何だと言っていますか。

→

②パウロが「植える」、アポロが「水を注ぐ」とは、どんな働きだったと思いますか。

→

③「大切なのは…成長させてくださる神」とはどういうことですか。

→

④パウロは教会の統一性と多様性をどのように表現していますか。

→

⑤「神の同労者」、「神の畑」「神の建物」とはどういう意味ですか。

→

**【適用と分かち合い】**

①御霊に属する人とはどのような人のことですか。そういう方に出会ったことがありますか。

②どうしたら御霊に属する人になれると思いますか。(Ex, マタイ19:16-27、ガラテヤ5:19-26)

③パウロは、教会において何が大切だと言っていますか。(神と私たちの関係、それぞれの役割)

④神は、私たちがどのように成長させてくださるのですか。(ヤコブ1:2-4、Ⅰペテロ1:7)。